

この伝統を、超える未来を。



関西大学図書館



A photograph of the Kansai University Library building, a modern structure with a prominent wooden facade and a large, cantilevered roof. The building is set against a clear blue sky. In the foreground, there is a blue background with a grid of white lines and binary code (0s and 1s) scattered across it.

Kansai University Library

目次

| | |
|-----------------------|----|
| はじめに | 2 |
| 総合図書館 | |
| 施設紹介 | 3 |
| フロアガイド | 7 |
| 貴重書コレクション | 9 |
| 高槻キャンパス図書館 | 13 |
| ミューズ大学図書館 | 14 |
| 堺キャンパス図書館 | 15 |
| 図書館の歴史 | 16 |
| 各種オンラインサービスの紹介 | 17 |
| アクセス・利用時間 | 18 |

はじめに

関西大学の前身・関西法律学校は、大阪控訴院長児島惟謙の支援のもとに、小倉久らボアソナード門下の在阪司法官たちにより、1886(明治19)年大阪西区の願宗寺で開校しました。その後学舎は興正寺に移り、図書室が置かれたのが関西大学図書館の始まりです。1914(大正3)年、福島学舎に独立した図書館が誕生し、その後幾多の変遷を経て、1928(昭和3)年千里山図書館(現在の簡文館)が竣工しました。以後、1929(昭和4)年の天六分館開設、1964(昭和39)年からの専門図書館との併設時代を経て、1985(昭和60)年に千里山図書館、専門図書館および社会学部臨時開架閲覧室を統合し、現在の関西大学総合図書館が開館しました。その後、1994(平成6)年に高槻図書室(現在の高槻キャンパス図書館)、2010(平成22)年にはミューズ大学図書館、堺キャンパス図書館を開設し、総合図書館を本館とする四館体制となりました。

こうした発展の結果、現在では図書 220 万冊以上、雑誌約 25,000 タイトル、電子ジャーナル約 20,000 タイトル、他各媒体資料多数を所蔵する、日本の私立大学有数の大学図書館へと成長しました。

学術情報の中枢機能を担う図書館は、本学の歴史と伝統に培われた古典籍の充実と継承を図る一方で、電子化による情報の提供をも充実させ変革していくという「継承と変革」を基本理念として、さらなる利用者サービスの向上を目指しています。

総合図書館 施設紹介

エントランスホール

正面入口を入ったところがエントランスホールです。
ホールには、来館者を迎える
エントランスカウンターと展示室があります。



展示室

1F レファレンス室

レファレンス室は、主として研究するための新着雑誌、
参考図書、新聞、地図、EU資料などを備えたフロアです。
また、情報検索コーナーとして、インターネット環境を備えた
情報検索用パソコンを設置しています。



1階カウンター (メインカウンター・レファレンスカウンター)

メインカウンターでは、地下書庫に収蔵している研究用図書の貸出、返却手続を行うほか、図書館の総合案内の役割を果たしています。

また、レファレンスカウンターでは文献の探し方や資料の利用方法に関する相談に応じたり、他大学図書館への照会や文献複写借用申し込みの受付などを行ったりしています。



インターネット検索コーナー

検索用パソコンが設置されたコーナーです。
「データベースポータル」(図書館ウェブサイト提供)掲載の各種データベースへのアクセスやCD-ROMを利用して図書雑誌論文・新聞記事など資料の検索が可能です。



ラーニング・コモンズ

学生の主体的な学習を支援するための
スペースです。
グループ学習にふさわしい設備が
整っています。



ラーニング・エリア

机やイスを自由に組み合わせて、グループワークを行うことができます。



コモンズ・カウンター

学生スタッフが機器の貸出やワーキング・エリアの予約等に対応します。



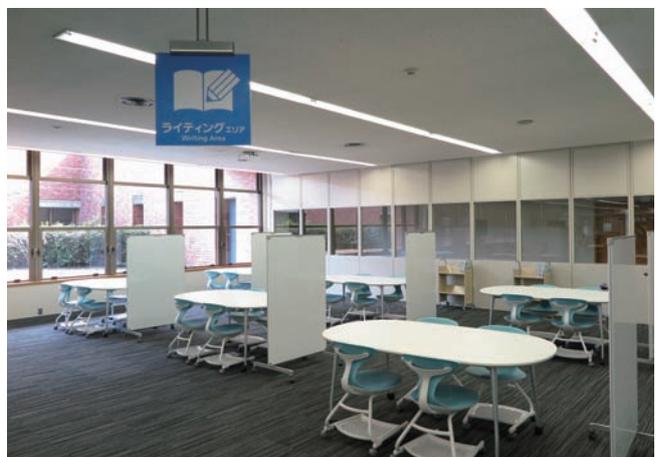
ワーキング・エリア

大小9室の個室があり、プロジェクターを使用してプレゼンテーション等の練習
ができます。



ワークショップ・エリア

大型スクリーンを使用して、イベントやガイダンスを行っています。



ライティング・エリア

ティーチングアシスタントによる文章作成指導が受けられます。

2F

開架閲覧室

開架閲覧室は、主として学部学生が学習するための図書、辞書・事典、AV資料などを配置したフロアです。フロアは東側の自然科学・工学系エリア、西側の人文・社会科学系エリア、中央の参考図書のエリアと大きく3つに分かれています。



新刊書コーナー



閲覧席



人文・社会科学系エリア

3F

一般閲覧室・グループ閲覧室

3階は自習するためのフロアで、一般閲覧室、グループ閲覧室があります。



グループ閲覧室



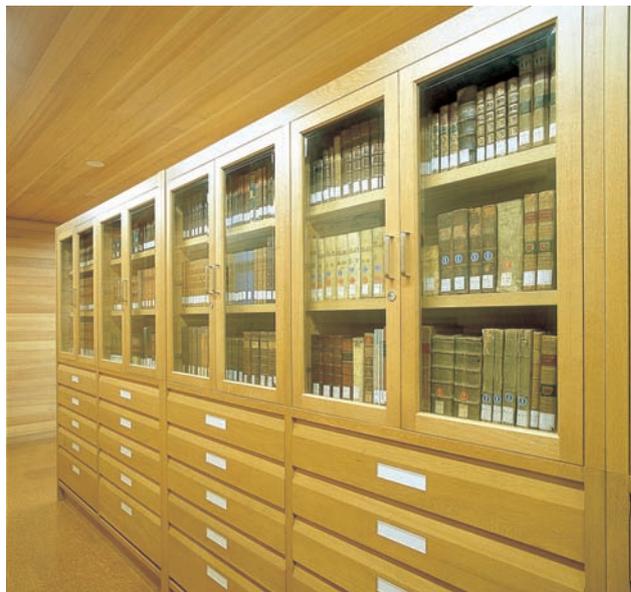
一般閲覧室

貴重書庫

図書館の蔵書のなかでも特に貴重な資料は、貴重書庫に保存されています。

内部は、年間を通じて湿度55～65%に、温度は外気温に合わせて20～24℃に保たれるよう設定されています。

また、カビや害虫から貴重な資料を保護するための燻蒸可能な設備となっています。



貴重書庫

B1・2F 書庫

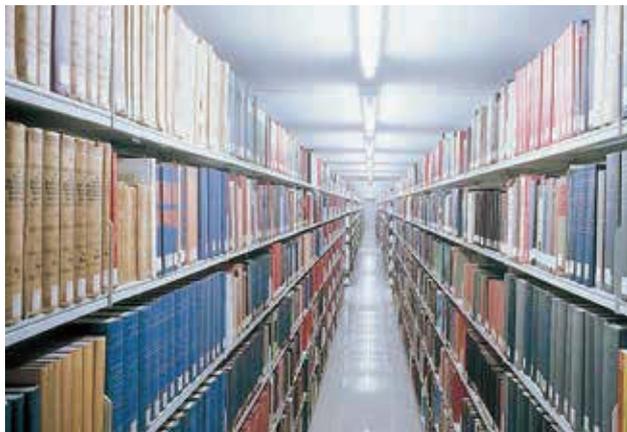
地下1階、2階は、図書館の資料を保存するフロアです。

地下1階には研究用図書を、地下2階には雑誌・新聞のバックナンバーを取蔵し、合わせて約150万冊の資料が収容できます。



光庭

図書館の北側につくられた光庭により、地下1階、2階の研究個室に自然光が届くように工夫されています。



電動集密書架

書架の省スペース化を図るため、地下2階の東西に電動書架を設置しています。



研究個室

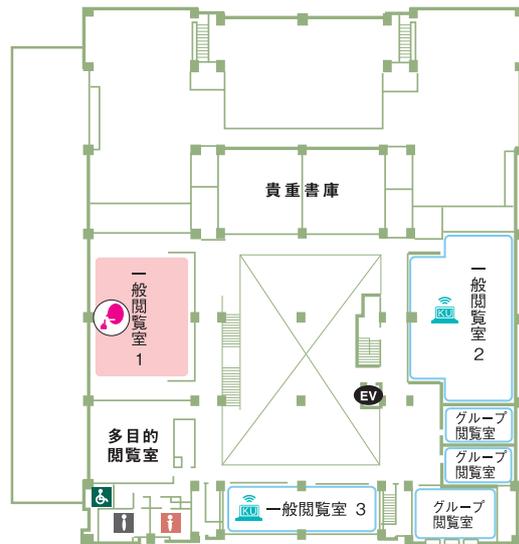
研究者のための研究個室20室と閲覧室を設置しています。

フロアガイド

3F

一般閲覧室

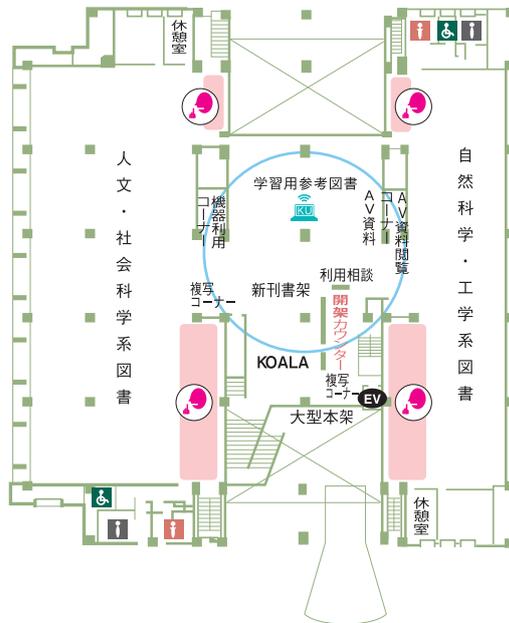
- 一般閲覧室
- グループ閲覧室
- 多目的閲覧室
- 貴重書庫



2F

開架閲覧室

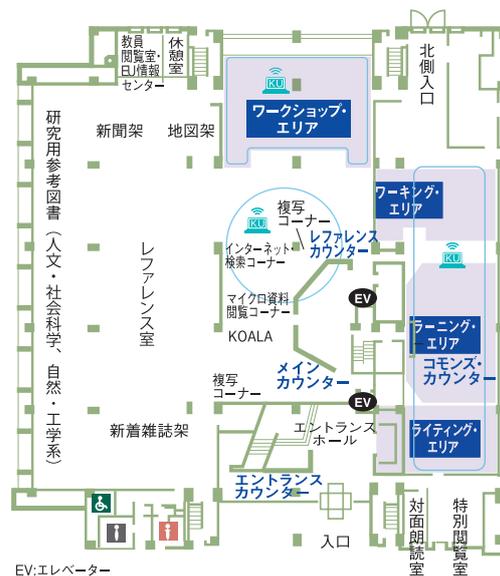
- 開架閲覧室
- 学習用図書
- 参考図書
- 辞書
- AV資料
- AV資料閲覧コーナー
- 開架カウンター



1F

レファレンス室

- レファレンス室
- 参考図書
- 辞書
- 目録
- 索引
- 地図
- 新着雑誌
- 新聞
- インターネット検索コーナー
- EU情報センター
- ラーニング・commons
- 展示室
- メインカウンター
- レファレンスカウンター
- エントランスカウンター
- commons・カウンター



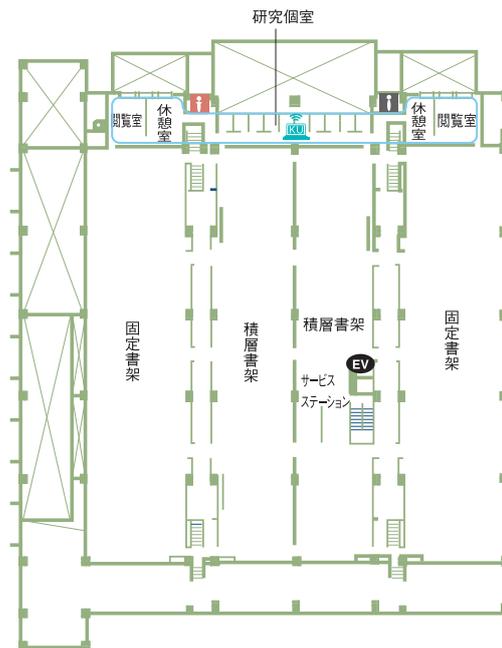
EV:エレベーター

 サイレントエリア
(パソコン・携帯電話・電卓など機器の使用が禁止されているエリア)

 KU Wi-Fiエリア
(無線LANが使えるエリア)

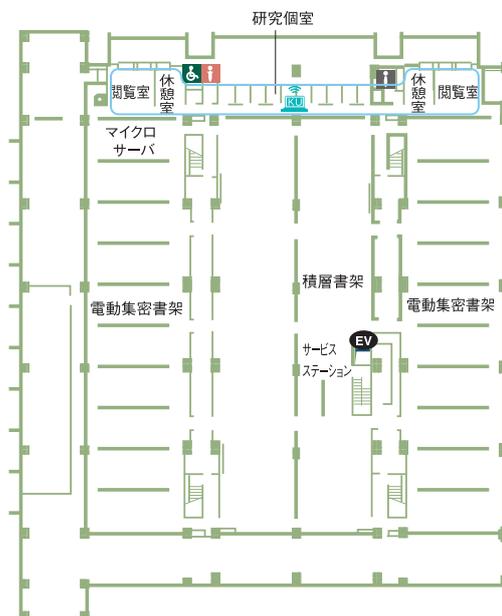
B1F

書庫
書庫
研究用図書



B2F

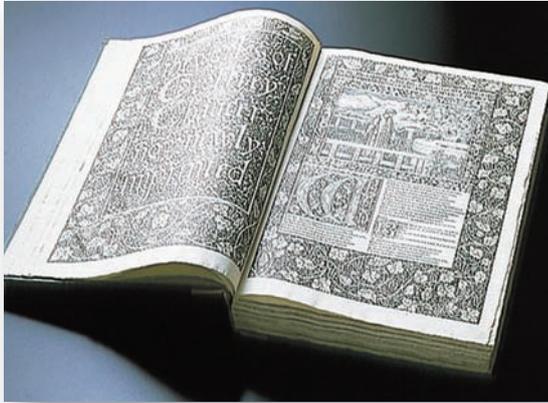
書庫
書庫
雑誌・新聞のバックナンバー
マイクロ資料など



EV:エレベーター

貴重書コレクション

幾重もの時代を経て継承される歴史の記憶



『チョーサー著作集』

1896年にケルムスコット・プレスより出版されたチョーサー作品集。ケルムスコット・プレスは、詩人で芸家、社会主義者でもあったウィリアム・モリスが、15世紀揺籃期本の美しさを再現するために創立しました。

大阪文芸資料

—明治年間大阪で出版された文芸雑誌

明治以降の大阪にゆかりのある作家・画家・芸能人などの作品や、大阪を題材とした作品の初版本、摺物、自筆原稿、書簡類、文芸・芸術雑誌などを収集した文芸資料コレクション。



関西大学図書館 電子展示室

貴重資料をデジタル映像化し、ウェブサイト「関西大学図書館 電子展示室」において公開しています。

(<http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/etenji/etenji-top.html>)





中井履軒『顕微鏡記』

江戸中期の儒学者、中井履軒(1732～1817)が、当時では珍しい顕微鏡なるものを覗いた時の記録。天明元年に成る。履軒は兄の竹山没後、懐徳書院を主宰しました。



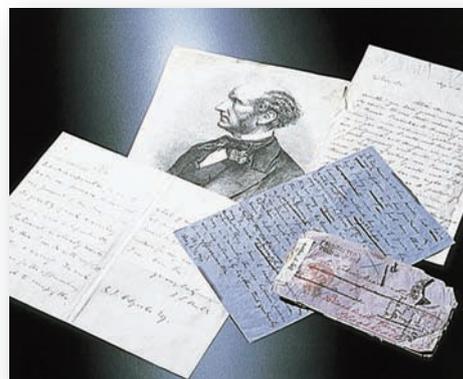
増田涉文庫 一魯迅『唐宋傳奇集』

生前の魯迅に親しく教えを受け、わが国魯迅研究の第一人者であった元本学文学部教授、増田涉(1903～77)の旧蔵書。魯迅の全著作の初版本と各種異版、また魯迅に関する文献が多く含まれます。



『伊勢物語』

慶長13年(1608)から京都嵯峨で出版された嵯峨本伊勢物語。嵯峨本は、流麗な平仮名交じりの古活字版で、その挿画と表装の美しさで知られています。



J.S.ミル自筆書簡

本学が豊富に所蔵する、イギリスの経済思想家、ジョン・スチュワート・ミル(1806～73)の文献の一つで、ウィーンのロート夫人に宛てた書簡。ミルの多くの著作が明治の初めにわが国に導入され、自由民権運動に大きな影響を及ぼしました。



『THE JAPAN PUNCH』

明治期の近代漫画に大きな影響を与えた来日イギリス人、チャールズ・ワグマンが1862年に創刊した日本最初の漫画雑誌。日本における風刺漫画雑誌の嚆矢です。



大岡春卜筆

『浪花及澁川沿岸名勝』

紙本淡彩 縦27.0×横823.8cm
延享2年(1745)堺から大阪を経て京都二条城までの淀川筋17里余を彩色、精密に描いた長さ8メートルにわたる画卷。当時の上方の風景を彷彿させます。



岩崎美隆文庫

一契沖阿闍梨校合本『令義解』

江戸時代後期、河内国花園村の庄屋を務めながら国学の研究に没入した岩崎美隆(1804～47)の旧蔵書。国文学関係のほか、令義解・令集解など、律令関係の資料もかなり含まれます。

貴重書コレクション



近世文書—西田家文書

大阪周辺を中心とした近世文書のコレクション。特に摂津国の西田家文書は、太閤検地帳、地頭吟味の記録「手続書」などを含む充実した史料群です。



『金烏玉兎倭入船』

絵看板 紙本彩色 縦136×横168cm
嘉永5年(1852)10月大坂角の芝居か、同年11月京都四条北側芝居での上演の時のもの。絵看板は演目を絵で示したもので、芝居小屋正面の一階の屋根の上に掲げられました。



五弓雪窓文庫

—五弓雪窓『事実文編』

幕末の漢学者で、史家としても活躍した五弓雪窓(1823～86)が集めた旧蔵書約500冊。『事実文編』は、近世の人物の伝記を集大成したものの。



内藤文庫

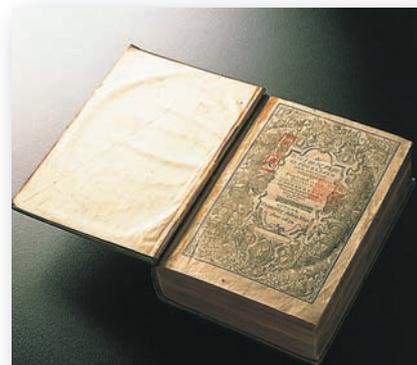
—章学誠『文史通義』稿本

内藤湖南(1866～1934)・伯健(1899～1978)父子二代にわたる碩学の旧蔵書。約33,000冊の文献のほか、拓本や考古資料、掛幅、書簡や写真資料など豊富に揃っています。



泊園文庫—藤沢東咳『泊園文稿』

幕末の浪速私学「泊園書院」の旧蔵書。藤沢東咳、子の南岳、孫の黄鶴・黄坡の三代四儒にわたって収集された漢籍と自筆稿本からなる約17,000冊のコレクション。漢学研究に必要な文献が網羅されています。



細江文庫

—コトグレープ『仏英・英仏辞典』第2版

英語学界の重鎮だった細江逸記(1884～1947)の英語学関係を中心とした旧蔵書約1,900冊。コトグレープの『仏英・英仏辞典』第2版は、世界で初めての本格的な2カ国語辞典です。



服部文庫

—西田幾多郎自筆原稿『実践と対象認識』

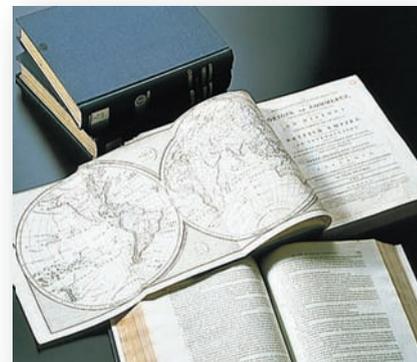
西洋中世哲学の研究家であった元本学文学部教授服部英次郎(1905～86)の旧蔵書。中世哲学を中心にプラトン、アウグスチヌス、トマス・アクィナス、デカルト、カントなどの著作が体系的に収集されています。ほとんどが洋書ですが、西田幾多郎の自筆原稿などもあります。



宮島文庫

—アダム・スミス『国富論』初版

宮島綱元本学理事長の旧蔵書約2,700冊。アダム・スミス『国富論』初版など、古典経済学関係の稀観本を含みます。



矢口文庫

—アダム・アンダーソン『商業の起源』

矢口孝次郎元本学学長の旧蔵書約2,500冊。イギリス社会経済史の稀観本など洋書中心のコレクション。アダム・アンダーソンの『商業の起源』はイギリス人の書いた最初の重要な商業史の著作とされます。



世界の聖書コレクション

—ベッテルハイム訳

『約翰伝福音書』とその金属活字

古今東西の聖書を収集した約1,500冊の貴重なコレクション。有名なベッテルハイム訳の稀観本をはじめ、ファクシミリ版*のギュッファ訳、ゴーフル訳など、幕末明治初期とキリスト教解禁期前後の聖書を一堂に揃えています。

*原形を現物通りに複写・模写したものを。



尾形探香筆 『象之繪巻』(部分)

筑前の画家尾形探香(1812~1868)が、象の通行している場面などを描いた絵巻。図には、象に従う人物をベトナム人でなく日本人に描いたり、拝謁場面があることから、享保13年(1728)に渡来した象の想像図かと思われます。



ヴァティカン図書館蔵本 ファクシミリ版

ヴァティカン図書館が所蔵する貴重な写本を、ファクシミリ化*したもの。ヴァティカン図書館は、4世紀ごろを起源とし、15世紀ごろから本格的な図書の収集を開始しました。

*原形を現物通りに複写・模写したものを。



木村兼葎堂筆『花蝶之図』

絹本着色、縦33.2×横21.5cm。大坂で酒造業を営み、大岡村トや池大雅に絵画を学んだ博学多才の趣味人・木村兼葎堂(1736~1802)の作品。兼葎堂の下には多くの文人画家たちが集まり、大坂画壇の中心的存在を果たしました。



ちりめん本

ちりめん本とは、明治中期に刊行された縮緬加工を施した色彩版手摺のものです。外国人の観光土産として欧米に伝わり、広く親しまれました。



百万塔陀羅尼

天平宝字8年(764)惠美押勝の反乱後、関係者の菩提を弔うため孝謙上皇により発願され、神護景雲4年(770)に完成された百万塔の遺品。塔身に納めた陀羅尼は『無垢浄光経』によるものです。



廣瀬文庫 — 『萬葉集』

本学元学長で中世英文学者である廣瀬捨三(1911~2002)の旧蔵書約4,100冊。国書、漢籍、洋書などから成り、特に『萬葉集』は、初めて発掘された非仙覚本系の唯一全巻そろった写本です。



中村幸彦文庫—『尚書註疏』

日本近世文学の泰斗、中村幸彦(1911~98)の旧蔵書を譲り受け、平成13年に創設した文庫。和漢古書、自筆ノート、手沢本、雑誌類などのほか、天下の孤本とされる南宋版『尚書註疏(書経注疏)』もあります。



長澤文庫

生涯を中国文学及び書誌学の研究に捧げた長澤規矩也(1902~80)の旧蔵書約30,000冊。漢籍、和古書の他に書目類、摺物などが含まれ書誌学サンプルの宝庫です。

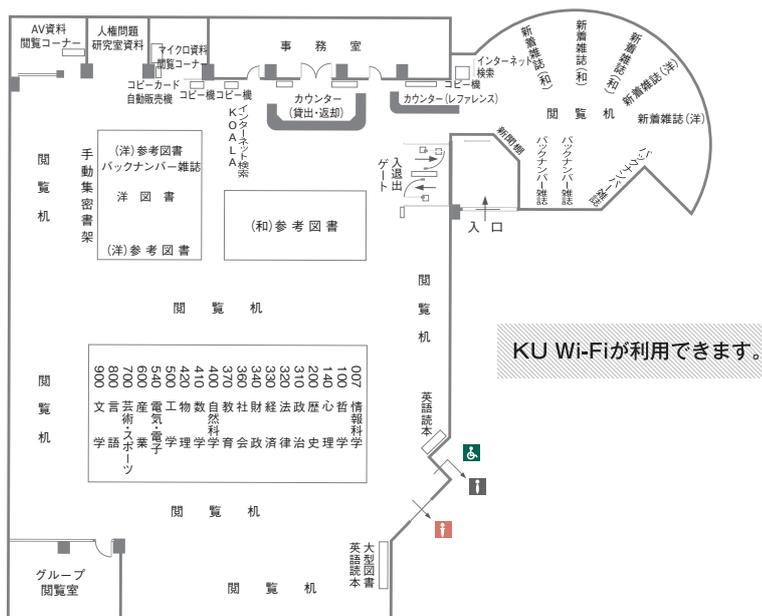
高槻キャンパス図書館



高槻キャンパス図書館は、大阪と京都の中間に位置する高槻市に1994（平成6）年に開設された関西大学高槻キャンパスの図書教室棟（B棟）の地下1階にあります。

高槻キャンパスには総合情報学部と大学院総合情報学研究科があり、施設としては教育研究のための最新設備を備えた学舎をはじめ、セミナーハウスや、グラウンド、さらには2006（平成18）年に日本で初めて大学に開設された通年型のアイスアリーナを完備しています。

高槻キャンパス図書館では、文系・理系という枠にとらわれることなく、様々な領域を「情報」という視点から総合的に探究するために必要な資料として、図書約5万冊、雑誌約500タイトルを所蔵しています。



堺キャンパス図書館

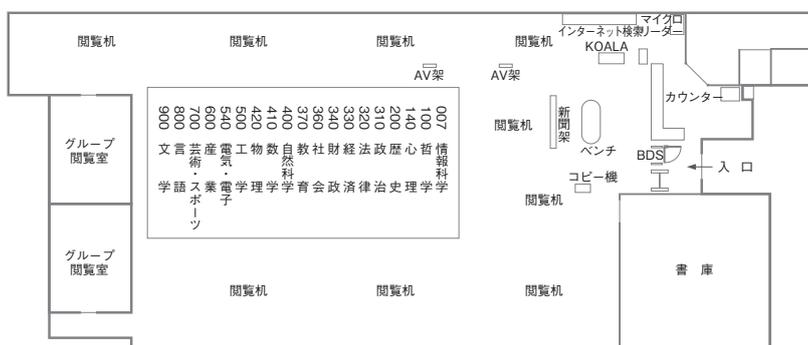


堺キャンパス図書館は堺市に2010（平成22）年に開設された関西大学堺キャンパスのB棟2階にあります。

堺キャンパスには、人間健康学部および大学院人間健康研究科があり、「プロジェクトアドベンチャー（体験学習エリア）」や「ユーモア科学測定室」といった特徴的な施設が設置されています。

学部教育の一環として読書に慣れ親しみ、楽しむため、また自己形成のために自然と本を手にとる習慣を育むことをめざして「21世紀教養プロジェクト—4年間で読む100冊」を実施しています。

堺キャンパス図書館では、スポーツ、健康、福祉をキーワードに広く人間の健康に関わる教育研究に必要な資料として、図書約4万冊、雑誌約200タイトルを所蔵しています。

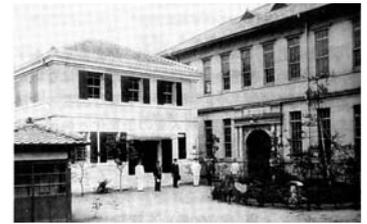


KU Wi-Fiが利用できます。



図書館の歴史

- 1886(明治19)年 11月 願宗寺(大阪西区京町堀)に関西法律学校開校
- 12月 東区淡路町に校舎を移転
- 1887(明治20)年 4月 興正寺(北区河内町)に校舎を移転
- 1903(明治36)年 12月 江戸堀校舎竣工移転(西区江戸堀北通)
- 1904(明治37)年 1月 江戸堀校舎に図書室を置く
- 1906(明治39)年 12月 福島学舎竣工移転(北区上福島北2丁目)
- 1912(大正元)年 8月 福島学舎増築工事が竣工し、同学舎に図書室を置く
- 1914(大正3)年 7月 福島学舎に図書館(図書館)竣工(本学初の独立図書館)[初代]
- 1922(大正11)年 4月 千里山学舎(予科校舎)竣工、予科校舎に図書室を置く
- 1928(昭和3)年 4月 千里山図書館竣工(鉄筋コンクリート3階建地下室付、書庫5階建)[2代]
- 1929(昭和4)年 9月 天六学舎竣工、天六分館を置く
- 11月 天六分館目録作成開始、登録番号1番より付番開始
- 1935(昭和10)年 11月 千里山本館目録作成開始、登録番号1番より付番開始
- 1955(昭和30)年 11月 円型新館2階に開架閲覧室を移す
- 1964(昭和39)年 9月 専門図書館竣工・開設、第1分室及び工学部分室を吸収
- 1978(昭和53)年 3月 ホストコンピューター FACOM230-38によるKULPISオンラインシステム(学術雑誌の仮受入システム)の運用を開始
- 1983(昭和58)年 4月 専門図書館内にEC資料センターを開設
- 1984(昭和59)年 10月 総合図書館竣工
- 1985(昭和60)年 2月 旧千里山本館及び専門図書館蔵書約100万冊を総合図書館へ移転(2月21日～3月14日)
- 4月 総合図書館開館[3代]
- 総合図書館開館にあわせ、閲覧貸出システムの運用を開始
- 利用者用蔵書検索システム(KUL)の運用を開始
- 1988(昭和63)年 10月 第4回日本図書館協会から総合図書館が「建物のみならず、すぐれた機能を持つ専門施設」であるとして建築賞の優秀賞を受ける
- 1994(平成6)年 3月 第2部の千里キャンパス移転に伴い天六分館を有終閉館
- 4月 高槻キャンパスに高槻図書室を置く
- 1995(平成7)年 2月 阪神・淡路大震災被災関連の阪神地区大学学生に利用を供する(6月まで)
- 4月 EC資料センターをEU資料センターと改称
- 1998(平成10)年 4月 高槻図書室が図書館の組織となる
- 10月 インターネットで蔵書検索システムKOALAの公開を開始
- 1999(平成11)年 5月 漢籍を中心としたCD-ROM版目録『内藤文庫目録KUL-bijou』を刊行
- 2000(平成12)年 4月 開館時間(通常22時まで)、開館日(日曜の他、国民の休日も開館)等サービスの拡大
- 既蔵書目録データ遡及入力(第2次3ヵ年計画)の開始
- 7月 研究者専用通路の設置、研究者カウンターの開設
- 8月 『内藤文庫目録KUL-bijou』刊行に対して、私立大学図書館協会より1999年度「協会賞」を授与される
- 2001(平成13)年 7月 「関西大学図書館規程」を制定
- 2004(平成16)年 3月 Webサイト「関西大学総合図書館電子展示室」を開設
- 2005(平成17)年 3月 第2書庫を設置(旧情報処理センター跡地を図書館に編入)
- 2007(平成19)年 4月 「図書館一般開放(申込制)」を開始
- EU資料センターをEUi(EU情報センター)と改称
- 2010(平成22)年 4月 高槻ミュージックキャンパスにミュージック大学図書館を置く
- 堺キャンパスに堺キャンパス図書館を置く
- 9月 Mobile OPACの利用提供開始
- 12月 MyLibraryとインフォメーションシステム(個人伝言)との連携開始
- 2012(平成24)年 10月 館内無線LANの設置
- 図書館広報誌「KULione」創刊
- 2013(平成25)年 2月 総合図書館でオンデマンド印刷システムを導入
- 9月 横断検索を蔵書検索システムKOALAと統合
- 2014(平成26)年 4月 図書館・博物館の連携企画展「関西大学名品万華鏡一館精選 イチオン!」を開催
- 高槻図書室を高槻キャンパス図書館に改称
- 7月 図書館創設100周年を迎える
- 11月 図書館創設100周年記念国際シンポジウムを開催
- 2015(平成27)年 4月 総合図書館にラーニング・commonsを開設



福島学舎図書館



千里山本館



天六学舎と天六分館



専門図書館閲覧室



総合図書館

各種オンラインサービスの紹介

関西大学図書館では、蔵書検索や各種オンラインサービスといったインターネットを利用したサービスを提供しています。詳細については、図書館内で配付している「図書館利用案内」で紹介しています。

1 蔵書検索システム「KOALA」

インターネットを利用して、関西大学図書館の蔵書を検索するシステムが「KOALA」です。必要な図書や雑誌が①図書館にあるか、②冊子資料と電子資料でそれぞれどんなものがあるか、などが分かります。

パソコンだけでなく、スマートフォンからもKOALAの検索、利用状況の照会、他館からの取寄せなどが可能です。また、書誌検索結果一覧で画像のアイコンが表示されたものは、CSACアーカイブズ(*)が提供する図書館所蔵貴重書の画像データをKOALAから参照できる機能も備えています。

* 関西大学アジア文化研究センター(CSAC)が構築・運用。

2 オンラインサービス

・ MyLibrary (利用状況照会)

IDとパスワードを用いて各自の利用者権限でシステムにアクセスすることで、ウェブ上の各種サービスを利用できます。

| | |
|------------------|---|
| 予約依頼 | 貸出中の図書に対しての予約や一方の所蔵館から他方の受取館へ取寄せの依頼ができます。 |
| ILL複写依頼 (学外相互利用) | 学内にない資料について学外から複写物で取寄せを申込みことができます。 |
| ILL貸借依頼 (学外相互利用) | 学内にない資料について学外から現物での取寄せを申込みことができます。 |
| 新規購入依頼 | 図書館で所蔵していない図書資料について、購入を希望することができます。 |

3 電子ジャーナル

電子ジャーナルは、これまで印刷物として発行されていた学術雑誌を電子化したもので、主に出版社のウェブサイトからインターネットを通じて公開・提供されています。図書館では、Springer (シュプリンガー) 社などの大手出版社と契約し電子ジャーナルパッケージを導入しており、和洋合わせて約20,000タイトルの電子ジャーナルを閲覧できます。

4 データベース

図書館では雑誌論文や新聞記事などの情報検索のために各種データベースを提供しています。国内では、「ジャパンナレッジLib」や「日経テレコン」、海外では、「Web of Science」といったデータベースを含め、約70種類のデータベースを利用できます。

アクセス



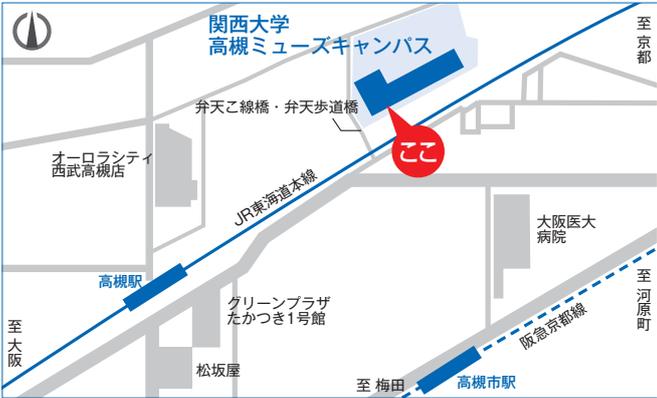
総合図書館

吹田市山手町3丁目3番35号
阪急千里線「関大前」駅下車、徒歩約5分。



高槻キャンパス図書館

高槻市霊仙寺町2丁目1番1号
JR「摂津富田」駅またはJR「高槻」駅下車、
高槻市営バス(「関西大学」行)乗車、バス停「関西大学」下車、徒歩約5分。



ミュージズ大学図書館

高槻市白梅町7番1号
①阪急「高槻市」駅下車、徒歩約10分。
②JR「高槻」駅下車、徒歩約7分。



堺キャンパス図書館

堺市堺区香ヶ丘町1丁目11番1号
南海高野線「浅香山」駅下車、徒歩約1分。

利用時間

| 図書館 | 曜日 | 学部の授業・試験を行っている期間 | |
|---------------------------------------|------|------------------|-------------------|
| | | 学部の授業・試験を行っている期間 | 学部の授業・試験を行っていない期間 |
| 総合図書館 | 月～金 | 9:00～22:00 | 10:00～20:00 |
| | 土 | 9:00～22:00 | 10:00～18:00 |
| | 日・祝日 | 10:00～18:00 | 休館 |
| 高槻キャンパス図書館 ミュージズ大学図書館 堺キャンパス図書館 | 月～金 | 9:00～20:00 | 10:00～17:00※ |
| | 土 | 9:00～17:00 | |
| | 日・祝日 | 休館 | 休館 |

※夏季休業期間中の土曜日は休館します。
詳しい情報は図書館ウェブサイトでご案内しています。URL : <http://opac.lib.kansai-u.ac.jp>



関西大学図書館

〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号 TEL 06-6368-1157
<http://opac.lib.kansai-u.ac.jp>

右のQRコードから
携帯電話で図書館
ウェブサイトへアクセス
できます。

